

# 広島市歯科医師会だより



## 9 月号

一般社団法人広島市歯科医師会

Hir o s h i m a C i t y D e n t a l A s s o c i a t i o n

No. 149 (R1.9.13)

## 目次

### 今月のトピックス

役員自己紹介	1 ページ
会長コラム『柔しく剛く』	2 ページ

### 行事報告

第 61 回 広島市学校保健大会	3 ページ
広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭	3 ページ
広島東洋カープ観戦の集い	4 ページ
第 64 回 中国地区学校保健研究協議大会班別研究協議会	5 ページ
第 3 回 支部長・副支部長会議	6 ページ

### 支部だより

中区支部	7 ページ
東区支部	8 ページ
南区支部	9 ページ
西区支部	9 ページ

### 各部からの報告

地域歯科保健部	12 ページ
広報部	14 ページ
FM ちゅーピー	16 ページ

### 会員ひろば

新入会員紹介	17 ページ
8 月定例理事会報告	17 ページ

# 役員自己紹介

## 能美和基専務理事

この度、本会専務理事を拝命しました東区の能美です。平成 19 年に本会に入会し公衆衛生部(現地域歯科保健部)の委員、副委員長を経て同部理事を 3 期務めて今回専務理事を拝命いたしました。専務理事という重責に身が引き締まる思いですが、私なりに一生懸命職務を遂行していく所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。



休診担当理事を終え 6 年ぶりのお盆

と前回の瓜生副会長と同じで、堅苦しい挨拶はこの辺にさせていただき自己紹介させていただきます。

私は昭和 43 年 6 月に牛田で生を受け、両親のおかげをもちまして安田小学校、城北中、高等学校を経て、父親と同じ日本歯科大学を卒業して歯科医師となりました。卒業後はバブルの残り香が漂う東京で就職して、日々楽しい生活を送っていましたが、バブルの跡形もない広島に帰り日本歯科大学の諸先輩方から様々なことを教えて頂きました。趣味は、ビリヤード、映画鑑賞、ゴルフ、でしたが現在高 3 の長女、高 1 の長男、中 1 の次男、小 2 の次女と 4 人の子供の父親で、月に 2 本見ていた映画も年に 2 本のアニメ映画となり、ゴルフも年に 2 回程度行くか行かないかくらいになりましたので、現在の趣味は子育てです。今まで 6 年間、休日救急歯科診療の担当理事をしていましたので、盆、正月休みは家族での旅行をしていませんでしたので、これからは罪滅ぼしで家族サービスに勤しみたいと考えています。



熊本への委員会旅行にて

今後は熊谷会長のもと、自分自身が楽しくやりがいを持って広島市民の口腔文化観の向上のため、会員の先生方のご意見を聞きながら職務を遂行していこうと考えています。

最後に会員の先生方におかれましては、会務執行へのご理解、ご協力を切にお願いいたします。



グアムでの休暇

コラム「柔しく剛く」の第2回目です。今回は、7月13日に開催された県歯会郡市地区会長専務理事合同会議において報告された事項から情報提供したいと思えます。

合同会議において、医師賠償責任保険に加入していない会員が、医療事故・医事紛争を起こした事例が複数あったという報告がありました。

人間である医師と患者さんとの間で医療行為が行われる以上、一定確率で必ず医療事故・医事紛争は起こります。その場合、その対応は精神的にも経済的にも大変な負担となります。

このような事故・紛争に巻き込まれないための対策が、非常に重要な訳ですが、起こってしまった場合に、歯科医師会は全力で会員を守るために行動します。広島県歯科医師会では、コンプライアンス推進室や歯科医療安全対策室が各部署と連携を取りながら万全の体制で対応して頂いています。本当に頭が下がる思いです。広島市歯科医師会においても、県歯会と連携を取りながら、総務部を窓口として対応する体制をとっています。

とはいえ、まずは自らが医療事故・医事紛争に対する備えをしっかりと行うことが必要であり、その第一歩が医師賠償責任保険へ

の加入です。ここで、皆さんに知っておいて頂きたいことがあります。以下に、広島県歯科医師会歯科医療安全対策室施行細則の一部を抜粋します。(医事紛争処理受任の制限)

第1条 歯科医療安全対策室(以下「対策室」という。)は、次の各号

に該当する場合、紛争処理の付託を原則として受理しない。

一 医師賠償責任保険に加入していない医療機関での医療事故や医事紛争

二 正会員が、事故報告をすることなく独自で事故処理を完了したのもの

三 対策室の判断により否認された医療行為とあります。

すなわち、医師賠償責任保険に加入していない場合は、たとえ県歯会会員であっても、医療事故や医事紛争が生じた場合に、歯科医療安全対策室は原則として対応していただけないと言うことです。

個人が最低限の対策を取っていない場合、歯科医師会として守りたくても守れないことがあります。そういう意味で、この規定には一定の妥当性があると言わ

会長コラム (第2回)

## 柔しく剛く

医師賠償責任保険に加入  
していますか？

熊谷 宏

ざるをえません。

医師賠償責任保険への加入は、広島富士見株式会社を通じた加入以外にも、各種学会等を通じたもの、個人的に保険会社で加入している場合などがあろうかと思えますが、加入の有無について、確認されることを強くお勧めします。そして、万が一未加入の場合は、直ちに加入してください。なお、富士見株式会社を通じた損害保険への加入は、団体契約により個人契約に比べ保険料20%の割引もありますし、その他いろいろな相談にも大変親切にのってもらえます。

会員の先生方が医療事故・医事紛争から自らを守りながら良質な医療を提供していくために、しっかりとした備えをして頂きたいという思いから今回はこの話をテーマとさせて頂きました。

# 行事報告

## 第 61 回 広島市学校保健大会

日時：8月1日(木)午後2時15分

場所：JMSアステールプラザ

「生涯にわたって健康で安全に生き抜く子どもの育成」をテーマに、広島市学校保健会、広島市教育委員会の主催、広島市PTA協議会の後援で開催された。

はじめに開会行事として松村誠広島市学校保健会会長の挨拶があり、続いて表彰式が行われた。本会関係では、片内恒平氏・木村太言氏・松原博久氏・三浦留貴氏・宮地謙氏・森田行雄氏が広島市学校保健功労者表彰を、鍋島耕二氏が永年勤務の学校歯科医として感謝状を受けた。さらに、よい歯の学校表彰、よい歯の健康大賞の表彰も執り行われた。最後に今回の受賞者を代表し、白川美穂子氏が謝辞を述べた。

続いて、分科会が開催され、歯科の分科会である第61回「よい歯の集い」は、山田純氏の司会のもと進行された。熊谷宏会長の挨拶に続いて、石通宏行氏(コアラ小児歯科院長)が「こどもの酸蝕症について」と題する講話を行った。

その後、よい歯の児童表彰式が行われ、各学校代表の児童一人ずつに熊谷会長から賞状が手渡された。最後に瓜生賢副会長の閉会の辞をもって、日程を終了した。



審査報告をする有馬隆理事(左)と  
(左から)上田裕次氏、能美和基専務理事、熊谷宏会長、宮地謙氏、木村太言氏、三浦留貴氏、鍋島耕二氏、  
松原博久氏、瓜生賢副会長(右)

## 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊

日時：8月6日(火)午前8時

場所：県歯会館「原爆慰霊碑前」

74回目の広島原爆の日を迎えた。昭和42年に原爆慰霊碑が建立され、「広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭」は今年度で53回目を迎えた。

原爆慰霊碑「原爆の碑」を新会館敷地内へ移設した場所で、3回目の慰霊祭となる。

台風8号接近、九州通過中の小雨が落ち始めた中、原爆慰霊碑前に祭壇を設けて、47名の参加者が集い、能美和基専務理事の司会のもと、しめやかに慰霊祭が執り行われた。

今年から神式による慰霊祭となり広島東照宮様の齋主により執り行われた。熊谷宏本会会長、県歯会会長

代理石田栄作副会長、遺族代表の野坂寛氏による玉串  
拝礼の後、原爆投下時刻の午前8時15分に本会関係者

51名の死没者に対し、黙祷を捧げ、冥福を祈った。



玉串を捧げる野坂寛氏(左)と挨拶をする熊谷宏会長(右)

## 広島東洋カープ観戦の集い

日時：8月8日(木)午後6時

場所：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島「ラグジュアリーフロア」

去る8月8日(木)、本年度3回目となるカープ観戦の集いが開催され、会員の方々やご家族、従業員の皆さん約50名が集まりカープを熱く応援した。横浜DeNA相手に重盗での先制、パティスタの完璧3ラン、先発野村祐輔が8回1安打無失点無四球の快投で今季6勝目を挙げ、カープは6カード連続の勝ち越しとともに

真夏の9連戦で好スタートを切り、参加者皆さん大いに沸いた。来年も、カープ観戦を含め、特に若い世代の会員が家族を含めて歯科医師会への帰属意識が高まるような新規事業を鋭意企画中であるので、乞うご期待。



カープ観戦に参加した方々

## 第 64 回 中国地区学校保健研究協議大会班別研究協議会

日時：8月22日(木)午後2時30分

場所：広島国際会議場「ダリア」

生涯にわたり、心豊かで活力に満ち、健康で安全な生活を自ら実践することができる幼児・児童・生徒の育成を目指して、学校保健・学校安全に関する諸課題について研究協議を行い、その充実と発展を図ることを趣旨として、第64回中国地区学校保健研究協議大会が開催された。この大会は中国地方5県が輪番で毎年開催しており、本年は第64回中国地区学校保健研究協議大会広島県実行委員会(広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県

歯科医師会など)が主催した。

この大会の班別協議会第3班に地域歯科保健部の有馬隆理事(学校保健担当)が出席した。これは「歯と口の健康づくりを目指す学校歯科保健活動」を協議題として運営され、広島県北広島町立芸北小学校、鳥取県鳥取市立こじか幼稚園、島根県仁多郡養護教諭部会の養護教諭、教諭らが実践発表を行った。

広島県の芸北地域では、保育所から高等学校までがお互いに連携を密にし、「地域の子どもは地域で育てる」という芸北学園構想のもとに教育に取り組んでいる。「生きる力の基礎となる生活習慣を確かなものとする」を研究テーマとするその健康教育部会は、現在、「口から健康を考える」をサブテーマとして、歯と口の健康や食を中心にその取り組みを進めている。

北広島町立芸北小学校の清見和美養護教諭は、同校が他校種や地域と連携して取り組む実践について報告した。取り組みは主に三つの柱からなる。

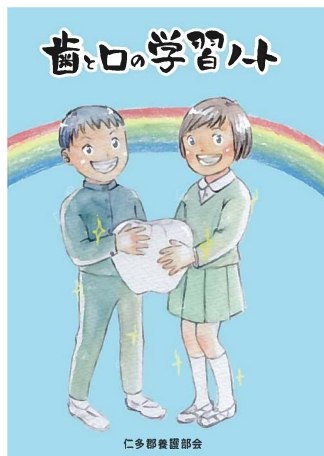
①ブラッシング指導。歯科医師、歯科衛生士による指導の他、昼食後の歯磨き時間を利用した養護教諭による全校生徒の歯磨きチェック、インターンシップとして受け入れている高校生による小学生の歯磨きチェックなどの取り組みにより、平成29年度と比較して31年度は歯肉炎の所見を有する児童が24%減少したとのことであった。小規模校であることのメリットを最大限に活かして個別的なブラッシング指導に注力していることが印象に残る。また、小学生に歯磨きの指導をしなければならない、ということが、インターンシップで来校する高校生自身にとっても丁寧な歯磨きを行うための良いモチベーションに繋がっているとのことである。

②「あいうべ体操」。口呼吸から鼻呼吸への転換を目指して毎日の一斉下校の時間を利用して取り組む他、長期休暇中の生活チェックの項目に歯磨きとともに組み込み、親子で振り返りをする生活の点検項目としている。これに取り組むことによって、子ども達から「喉の痛みがなくなった」、「舌がよく伸びるようになった」という感想が聞かれるようになるとともに、インフルエンザの罹患率が平成28年度の34%から平成30年度は3%まで激減した。

③しっかり噛む習慣をつけることを目指しての給食を通じた取り組み。歯並びに問題があったり、しっかり噛むことが難しかったりという児童生徒が比較的多いという実態を背景とし、噛むことが意識できるメニューを「かみかみ火曜日」のメニューとして栄養教諭が作成している。

他の発表者も地域や保護者などとの連携で取り組む歯・口の健康づくりについて発表した。中でも、仁多郡養護教諭部会が島根県歯科医師会と連携して作成した「歯と口の学習ノート」は本会の学校歯科医にとっても参考になると思われるため、是非、参照されたい(島根県歯科医師会HPでダウンロード可能)。

本協議会で発表した3校の取り組みに共通する特色の一つは、「嘔む」ということをキーワードとして食育と関連付けながら歯・口の健康づくりを進めていること。食育によっていくら身体に良いものを食べることを教えたとしても、健康な歯で嘔まない健康づくりに繋がりにくいことが容易に予想されることから当然とも言えるであろう。このように、歯・口の健康づくりは単なるむし歯や歯肉炎の予防としてではなく、それを健康教育の基盤とし、子どもに生きる力を育むことを目指す取り組みを行っていくことが大切であることを再確認するよい機会となった。



仁多郡教育研究会養護部会が作成した「歯と口の学習ノート」  
(島根県歯科医師会 HP でダウンロード可能)

### 第3回 支部長・副支部長会議

日時：8月21日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。始めに熊谷会長より「この執行部も6月29日から始まり、約2か月経とうとしています。前回6月の支部長・副支部長会議は新旧交えての引き継ぎもありましたので今回からが新しい先生方だけの初めての会議で実質的な協議が始まるのでよろしくお願いたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

#### 報告

##### 中区支部

- 6月19日 第2回支部長・副支部長会
- 6月21日 幟町圏域多職種連携会議
- 6月25日 ソフトボールチーム結団式
- 6月29日 第112回定時総会
- 7月5日 ソフトボール運営委員会
- 7月12日 吉島圏域多職種連携会議
- 7月19日 中区在宅医療介護研修会
- 7月20日 中区支部懇親会
- 7月27日 国保組合会・互助会総代会
- 8月3日 第75回広島県歯科医師連盟評議員会

##### 東区支部

- 6月21日 二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議
- 〃 東区地域保健対策協議会第1回在宅医療・介護連携推進委員会

##### 及び第5回常任理事会

- 6月23日 東区女性会まつり
- 6月29日 第112回定時総会
- 7月4日 戸坂圏域多職種連携会議
- 7月5日 ソフトボール運営委員会
- 7月27日 国保組合会・互助会総代会
- 8月3日 第75回広島県歯科医師連盟評議員会

##### 南区支部

- 6月29日 第112回定時総会
- 7月2日 南区支部理事会
- 7月5日 県立広島病院医局会主催ビアパーティー
- 〃 ソフトボール運営委員会
- 7月26日 南区地域保健対策協議会第1回常任理事会
- 7月27日 国保組合会・互助会総代会
- 8月3日 第75回広島県歯科医師連盟評議員会

## 西区支部

6月19日	第2回支部長・副支部長会
6月29日	第112回定時総会
7月5日	ソフトボール運営委員会
7月23日	中広圏域多職種研修会
7月25日	古田・高須学区「医療と介護の連携会議」
7月27日	国保組合理会・互助会総代会
〃	井口台・井口圏域認知症ケアネットワーク会議
8月3日	第75回広島県歯科医師連盟評議員会
8月7日	西区災害対策委員会
8月8日	古田台・山田学区「医療と介護の連携会議」

## 協 議

### ①中 区

- ・金パラ価格の高騰と、FMC、インレー等の点数について
- ・地域保健対策協議講習会の日歯生涯研修の扱いについて
- ・中区地域ネットワーク事例検討会について
- ・健康ソフトボール大会について

### ②執行部

- ・だより記事について

# 支部だより

## 中区支部

### 第25回中区地域ネットワーク会議事例検討会

日時：8月20日(火)午後6時30分

場所：大手町平和ビル

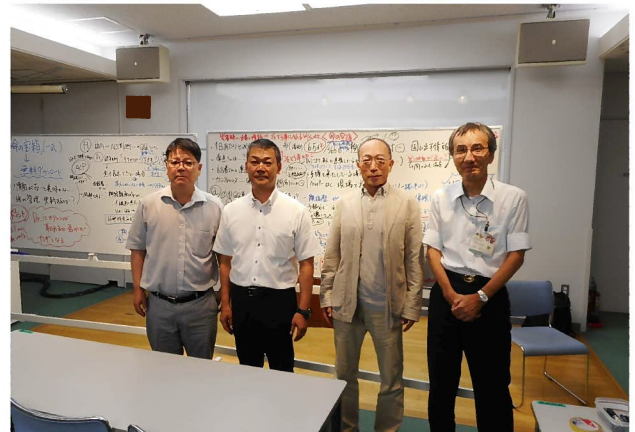
標記の会が開催された。

「緊急事態発生！？～救急車の利用について考えてみよう！～」の内容の元、グループ形式で検討を行った。最初に、事例検討として「頻回に119番通報を行う精神疾患を呈した高齢困難事例」という内容で、「不安が高まると頻回電話」「いずれも緊急性なし」「抑制・説得困難」を事例のポイントに絞り、様々な職種から活発な意見交換が行われた。

一見我々からすると無関係というようにも見える認知症患者による妄想から引き起こされるトラブル事例は歯科領域でも、全国的に増加の傾向があると聞く。例えば、「不安が高まると頻回電話」という事例は本会会員の中で経験のある先生はいるのではなからうか。その対応策の一つには多職種との連携が挙げられ、その人を取り囲む環境などを把握することが大切であると同時に普段からの顔が見える関係づくりを築いていくことが重要なポイントとなる。

その後、アドバイザーに広島市中消防署から辻道広昭係長を迎え、救急車利用における様々な事例に対しての質問や意見交換が活発に行われた。

なおこの検討会には、中区支部より波田佳範支部長、森田薫氏、仁野克明氏の3名が出務した。



検討会の出席者



## 第 11 回 江波圏域多職種連携会議

日時：8月24日(土)午後4時

場所：大手町平和ビル5階「大会議室」

標記の会が開催された。

森内芳恵中区健康長寿課専門員による司会進行の下、講師に(株)クリニコより茅野梓管理栄養士を迎え、「高齢者の食べるを支える～在宅での栄養管理の基礎知識」という演目で講演が行われた。

我々は食事を摂取し、それをエネルギーに替え生きているが、高齢になるにつれて運動量の低下によるエネルギー消費が低下すること、また低栄養、フレイルなどの問題点が具体例として示された。高齢による1回食事量の減少に対して、間食などによる補助食品の摂取などの対応策が示された。同社は森永乳業の関連会社ということもあり、比較的にカロリーの高い飲み物と、プリン状になった茶碗蒸しなどの試食があった。

引き続き、「食事摂取量が十分に確保できない高齢者の支援」というテーマで、グループワークへと移行し、各職種による意見交換が活発に行われた。

なお、この会議には中区支部より波田佳範支部長、尾山奈々子氏、加藤千季氏、小島将督氏、小松大造氏、櫻井博之氏が出席した。



会議の出席者

## 東区支部

### 令和元年度 東区在宅サポート研修会～ひがしの在宅支え隊～

日時：7月25日(木)午後2時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

広島市東区地域保健対策協議会の主催により、標記の会が開催された。金谷雄生東区医師会副会長をはじめ、住吉秀隆東区医師会理事、森川悦子広島市薬剤師会副会長、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、地域包括センター職員、社会福祉士、東区職員、東区医師会事務局職員から計86名の参加があり、住吉秀隆東区地対協理事の挨拶で始まった。

まずはじめに、東区ケアマネジャー自主勉強会によるフェイスネット((株)カナミックネットワークによるトリートラスシステムを利用したクラウドサービス)の活用についてアンケート結果報告があった。各職種別のシステム利用状況、実際に活用してみたの長所、短所についての説明があり、今後のフェイスネット発展のための提言がなされた。次に、住吉秀隆東区医師会理事より、フェイスネットの基本的な使い方、活用方法の説明があり、今後医師会が開催する講習会の案内があった。引き続きフェイスネットを使用した、効果的な活動内容の2事例の発表が居宅介護支援事業所及び訪問看護事業所よりなされた。最後に10班に分かれてグループワークを行い活発な意見交換の後、金谷雄生東区地対協副会長の挨拶で閉会となった。

## 南区支部

### 南区支部支部会納涼会及びソフトボール団結式

日時：8月23日(金)午後7時30分

場所：リーガロイヤルホテル33階「リーガトップ」

標記の会が19名の参加で行われた。福井康人南区理事の司会進行で、古谷知之南区支部長の挨拶の後、八島敏彦氏の乾杯により始まった。ホテル最上階33階からの夜景を楽しみながら、忌憚なく意見を交わせる和やかな雰囲気

の中、会員同士の親睦を深めた。最後に南区ソフトボールチームキャプテン岡野聡氏より今年度のソフトボール大会への抱負、目標を語っていただき、盛況のうちに閉会となった。



ソフトボール大会について語る岡野聡氏(左)  
納涼会及び団結式に参加した南区支部会員(右)

## 西区支部

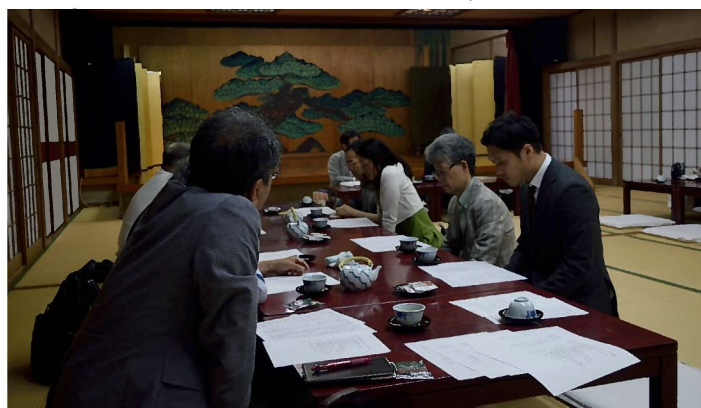
### 令和元年6月西区支部例会

日時：6月13日(木)午後7時30分

場所：西区己斐本町「木松旅館」

初夏を思わせる日差しが和らいだ夕刻に標記の会が開催された。今井多聞西区支部長の司会のもと報告事項として①本会役員報酬検討委員会、②支部長副支部長会議、③GW中休日歯科救急医療、④西区支部会員に県代議員立候補呼びかけFAX送信、⑤連盟第74回評議委員会、ひがなつみ講演会、協同組合総代会、⑥県歯会代議員選出、⑦

西区地対協理事会、⑧市選出県代議員の質問打ち合わせ会議、⑨観音圏域医療介護連携会議、講演会 ACP、⑩第145回県歯会定時代議員会、⑪西区支部平成30年度決算報告、会計監査について報告された。協議事項は特になかった。新規入会の柄博紀氏が紹介され、同氏より挨拶があった。最後に杉原陽一西区副支部長の閉会の辞で終了した。



研修会の様子

## 中広圏域多職種研修会

### 「認知症それぞれの立場でできる事」 ～知ってつながろう私の住むまち働くまち～

日時：7月23日(火)午後7時

場所：西区民文化センター3階「大会議室 AB」

標記の会が、広島市中広地域包括支援センターの主催で開催された。

中村直樹広島市中広地域包括支援センター長と炭田知宣炭田内科胃腸科医院医師による挨拶があり、中本和恵広島市中広地域包括支援センター看護師より中広圏域認知症支援体制作りについて経過報告があった。次に圏域内認知症カフェ立ち上げ及び活動報告について、ぶらっとカフェを久保田蓋世三篠地区民生委員児童委員協議会会長より、いどばたカフェを松瀬弘樹ツクイ広島大芝社会福祉士より報告があった。そして「それぞれの立場でできる事」

という議題でグループディスカッションを行った後「認知症あんしんガイドマップ」について、岡田眞理広島市西部認知疾患医療センター看護師より説明があった。最後に「つながりプロジェクト」DVDが流され、これまでの事業を振り返り涙される方もあり感動の時を共有した。総評を、篠田勸しのだ皮膚科医師が述べ、中村直樹氏の挨拶で終了した。

この会議には西区支部から角田達彦支部長、宮脇博正氏、山根一芳氏が出席した。

## 第9回 古田・高須学区「医療と介護の連携会議」

日時：7月25日(木)午後6時30分

場所：古田公民館2階「研修室1」

西区古江西町の古田公民館にて、標記の会が開催され、60数名が参加した。油野初音広島市古田地域包括支援センター長から、「住み慣れた地域で自分らしく暮らすため介護予防・総合事業は地域づくり」、「今回の会議の目標である、『介護予防・日常生活支援総合事業』の内容を理解し、高齢者が住み慣れた地域(なじみの環境)で、いつまでも元気で暮らすために自立した日常生活を送れるよう、一人ひとりの状態や目標(意欲の源)に合わせたサービス提供の必要性について」のお話があった。その後、10グループに分かれ、「①総合事業が始まって今思うこと、期

待していること。②一人のケアマネジャーのつぶやき(支援サービス卒業時の問題点を考える寸劇)から自立支援を考える。」をテーマにディスカッションし発表をした。

要支援1・2の人、事業対象者が利用できる各種サービス、サロン、また、フレイル(健康な状態と要介護状態の間の状態)予防に必要な3つのこと『運動』『社会参加』『栄養口腔』についてなどのお話があり、村木一雄広島市西区社会福祉協議会事務局長が閉会の辞を述べ終了した。西区支部からは、浅川敏文氏、竹田芳弘氏、濱岡代枝氏、森川英彦氏の4名が出席した。

## 第4回 井口台・井口圏域認知症ケアネットワーク会議

日時：7月27日(土)午後3時

場所：草津病院北館「作業療法室」

井口台・井口地域包括支援センターの主催で標記の会が開催された。この会議は認知症を理解し、医療と介護、地域住民との連携を深めることを目的として、井口台・井口圏域を中心に医療・介護職、民生委員、行政の職員80名が参加した。

奥田智世井口台・井口地域包括支援センター職員の司会進行の下、吉岡寛子同センター長の挨拶があり、グループワークへと移行した。①食事、料理、買い物②運動、集いの場③健康管理④ゴミ出しの4つのテーマについて、それぞれの立場からどのような認知症支援の取り組みを行って

いるか、今後どのような取り組みができるかという意見交換を行い発表した。その後、認知症カフェ「オレンジカフェすずがみね」の取り組みと広島市西部認知症疾患医療センターで関わった免許返納支援についての紹介があった。認知症カフェにおいては当事者だけでなく家族も相談できる場所作りの必要性を、また社会問題化している高齢者の車の運転については自分の意思で免許返納できるよう粘り強く支援していくことの重要性を学んだ。

最後に吉岡寛子井口台・井口地域包括支援センター長による閉会挨拶によって会議は終了した。

なおこの会議には西区支部より豊田育星氏、濱岡代枝氏の2名が参加した。



会議に出席した豊田育星氏

## 第10回古田台・山田学区「医療と介護の連携会議」

日時：8月8日(木)午後6時30分

場所：パークヒル病院3階「会議室1」

標記の会が広島市古田地域包括支援センター主催により開催された。

河原道夫医療法人和同会広島パークヒル病院副院長による開会の挨拶があり、油野初音広島市古田地域包括支援センター長から「住み慣れた地域で自分らしく暮らすため介護予防・総合事業は地域づくり」という演題で講演があった。総合事業という言葉についての意味と取組について、企業の作った説明動画を流しながらとても分かりやすく解説された。それを基に①総合事業が始まって今思うこと、

期待していること②ある一人のケアマネジャーのつぶやきから自立支援を考える、という2題についてグループワークが行われた。②については職員の方の寸劇を交え、熱心な取り組みをしている事に参加者も共感していた。広島市西区健康長寿課の中村宏美氏から閉会の挨拶があり終了した。

この会議には本会西区支部から角田達彦支部長、濱岡代枝氏が出席した。



会議の様子

# 各部からの報告

## 地域歯科保健部

### G・GO判定基準の本当の学び方を知っていますか？

日本学校歯科医会は学校歯科健康診断において判定が困難とされる歯肉の状態(特にGOとG)の判定の標準化を図るために「歯肉の画像判定教材」を制作し、同会ホームページに公開した。教材は「判定基本コース」及び「チャレンジコース」からなり、小学校低学年から高校生まで対応する。いずれも利用者が自分で判定した後に正解及び解説を確認する形で学習を進める。利用に会員資格は不要。同会ホームページ「学校歯科医・関係者」内「歯肉の画像判定教材」ページからご利用ください。



### チャレンジ 中学生 [判定解説]



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



画像 7

判定解説

0 1 2

0 1 2  
G

プラーク(歯垢)の付着多く、広範囲に歯肉の炎症が見られる

日学歯「歯肉の画像判定教材」より

## 令和元年度食生活改善普及運動について

本会は広島市食育推進会議を通じて、厚生労働省が進める「令和元年度食生活改善普及運動」に協力しています。これは「食事をおいしく、バランスよく」を基本テーマとして「毎日プラス1皿の野菜」、「おいしく減塩1日マイナス2g」及び「毎日のくらしに with ミルク」に焦点を当てた取り組みで、歯科医院等で活用可能なPOP類等も下記のように提供しています。是非、ご活用ください。

### 1. POP類等の掲載場所

食生活改善普及運動特設ページ(「スマート・ライフ・プロジェクト」ホームページ内)

<http://www.smartlife.go.jp/plus1tool>

### 2. ダウンロード及び印刷可能なPOP類等

#### (1) POP類等(ツール)

- ① 普及チラシ:食事をおいしく、バランスよく
- ② マークシール:毎日プラス1皿の野菜、毎日の暮らしに with ミルク
- ③ 店頭POP:毎日プラス1皿の野菜、おいしく減塩1日マイナス2g、毎日の暮らしに with ミルク

#### (2) ツールマニュアル

上記ツールの活用方法を記したマニュアル

**食生活改善普及運動  
特設ページ**

健康寿命をのばそう!  
Smart Life Project

厚生労働省  
MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE

**○ 食生活改善普及運動に向けて**

厚生労働省では毎年、9月1日から9月30日までの1か月を「食生活改善普及運動月間」としています。平成30年度の食生活改善普及運動月間は、「野菜摂取量の増加」「食塩摂取量の減少」及び「牛乳・乳製品摂取量の増加」に関する効果的な運動が全国的に展開できるよう、様々な場面で利用可能な『毎日プラス1皿の野菜』『おいしく減塩1日マイナス2g』『毎日のくらしにwithミルク』啓発ツールを作成しました。

店頭などでも簡単に使えるよう、ツールは無料でダウンロードいただけます。この機会に様々なシーンのPOPとして、是非ご活用ください。

なお、『毎日プラス1皿の野菜』『おいしく減塩1日マイナス2g』『毎日のくらしにwithミルク』啓発ツール等を用いた普及運動を行う際は平成30年度食生活改善普及運動実施要項を必ずお読みください。

[平成30年度食生活改善普及運動実施要項 \(PDF\)](#)

[\(参考\)](#)

ツールの使用事例はこちらをご参照下さい。

[平成29年度](#)  
[平成28年度](#)

食生活改善普及運動特設ページ(厚生労働省)

リンク切れはご容赦を。記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。  
最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

## 今月の知っておきたいこと

### ▼口の中のアセトアルデヒド濃度に影響する舌表面の細菌の特徴を解明！

岡山大学(2019年8月8日)

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id647.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id647.html)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(歯)の森田学教授と横井彩医員、岡山大学病院新医療研究開発センターの丸山貴之助教、同病院医療支援歯科治療部の山中玲子助教、および北海道がんセンターの秦浩信歯科口腔外科医長らのグループは、口の中のアセトアルデヒド濃度に影響する舌表面の細菌の特徴を解明しました。



### ▼消費税率引上げに伴う 2019 年度診療報酬改

### 定を告示 (8月19日)

Web 医療と介護(2019年8月22日)

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/201908/8235>

厚労省は8月19日、10月の消費税率10%への引上げに伴う2019年度診療報酬改定を告示した。控除対象外消費税問題に対し、診療報酬による消費税2%相当分の補てんなどを行う。個別改定項目については、2月13日の中医協答申ですでに示されている。



### ▼第88回先進医療技術審査部会 資料

厚生労働省 第88回先進医療技術審査部会 資料(2019年8月22日)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_06233.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_06233.html)



## ニュースピックアップ

### ▼【研究結果】人工呼吸器関連肺炎(VAP)予防の口腔ケア用「オーラル プリベント&ケア マウスウォッシュ」を開発・製品化！

広島大学HP 2019年7月13日

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/52265?fbclid=IwAR35WMesFj0YqkD54nvtMxBp6oICRT-1U9GpJLbicaLvVC\\_mSNQ1XfLL3YM](https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/52265?fbclid=IwAR35WMesFj0YqkD54nvtMxBp6oICRT-1U9GpJLbicaLvVC_mSNQ1XfLL3YM)

広島大学大学院医系科学研究科の阿部泰彦准教授、岡崎洋平助教らの研究グループは、メディカルクラフトン株式会社(製造販売)、プリマール株式会社(製造)と産学連携コンソーシアムを形成し、2017年度~2019年度の日本学術振興会科学研究費助成事業「人工呼吸器関連肺炎の発症リスク軽減を目指した新規洗口剤の開発」の研究成果を活用して、メディカルクラフトン株式会社とプリマール株式会社は「オーラル プリベント&ケア マウスウォッシュ」を開発しました。



◎人工呼吸器装着者はほとんどの場合、自力でブラッシングや含嗽が出来ないため、洗口剤に頼った口腔ケアが行われています。人工呼吸器関連肺炎予防を謳っていますが、高齢者の訪問診療での口腔ケアなど、幅広く活躍しそうです。

### ▼細胞シートで歯周病治療 抜いた親知らず捨てずに活用

東京新聞 2019年7月19日

[https://www.tokyo-np.co.jp/article/living/life/20190719-0YTE150010/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://www.tokyo-np.co.jp/article/living/life/20190719-0YTE150010/?catname=news-kaisetsu_news)

[907/CK2019071902000182.html](https://www.tokyo-np.co.jp/article/living/life/20190719-0YTE150010/?catname=news-kaisetsu_news)

親知らずが歯周病患者を救うー。抜いた親知らずなどから採取した細胞を培養して細胞シートを作り、患部に貼り付けて歯周病を治療する治験(臨床試験)を、東京医科歯科大学の岩田隆紀教授(46)らが始めた。医療廃棄物として捨てられていた親知らずなどを使った新しい再生医療。高齢になっても多くの歯が残れば、生活の質の向上が期待できそうだ。



◎抜歯した親知らずの歯根膜細胞を培養した細胞シートを歯根面に移植して歯槽骨を再生させる治療のようです。何年前にも広島大学で話題になったような気がしますが、その後はどうなったのでしょうか。臨床に応用できることを期待したいと思います。

### ▼歯科機器 20年前の中古品…無許可販売容疑者「副業していた」

yomiDr 2019年7月19日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190719-0YTE150010/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190719-0YTE150010/?catname=news-kaisetsu_news)

インターネットを通じて、歯を削る医療機器を無許可で歯科医に売ったとして、大阪府警は18日、歯科技工士の浜田徹(61)(大阪府池田市)、知人で医療機器販売会社員の瀬尾隆昭(60)(大阪市)両容疑者を医薬品医療機器法違反(無許可販売)容疑で逮捕した。2人は、約20年前に作られ、既に製造が終了した中古品を販売しており、府警は入手経路などを調べる。



◎ネットオークションで歯科器材の中古品を売るとは、、、。売る方も売る方ですが、買う方もよく確かめもせず買っていたようです。「安かろう、悪かろう」では済まない問題です。歯科機器をはじめ購入は信頼のおける業者から行うべきでしょう。

### ▼新発見の恐るべき真菌、カンジダ・アウリス

メディカルトリビューン 2019年08月08日

<https://kenko100.jp/articles/190808004909/#gsc.tab=0>

真菌とはカビのこと。真菌が起す病気を真菌症と呼び、最も有名なものは白癬菌による水虫だが、患部が皮膚にとどまらず全身の感染症を生じる例もある。



◎カンジダ・アウリス(Candida auris)はその影響に地域差が見られ、世界的には怖い存在と恐れられているそうです。今のところ日本では、重篤な感染症を起こしていないようですが、困ったことに発見も消毒も治療も困難という厄介な真菌ということなので、注意が必要といえるでしょう。

### ▼脳の遺伝子治療、治験進む アルツハイマーやALS 海外先行、日本は量産課題

日本経済新聞 2019年7月15日

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ047295830S9A710C1TJM00/>

体内に遺伝子を入れて病気を治す遺伝子治療の脳や脊髄を対象にした臨床試験(治験)計画が相次ぐ。自治医科大学を中心に遺伝子の異常による難病のほか、ALS(筋萎縮性側索硬化症)やアルツハイマー病の計画が2020年から順次始まる。脳などは創薬が難しいが、加えた遺伝子が働き続けることで、遺伝病でも長く効果が期待できると注目を集めている。



◎遺伝子治療薬の課題は副作用と量産でしょう。その二点が解決されると、脳腫瘍、パーキンソン病、アルツハイマー病、ALSなどを患う人にとって朗報となるはずでしょう。同治療法の今後に期待しましょう。

### ▼ALSの原因遺伝子 iPS 使い新発見

日本経済新聞 2019年7月29日

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ047851520W9A720C1TJM000/?fbclid=IwAR0729TvJiWAY1TYfIPdIV8S9XZNeKIUk412nGzLeaJFwicDninIKI9T8>

東北大学・慶応義塾大学 筋肉が衰える難病、ALS(筋萎縮性側索硬化症)を治療する際の標的になりそうな遺伝子を新たに発見した。患者の細胞からiPS細胞を作り病気を再現し、変形した神経細胞から原因となる遺伝子を見つけた。新たな治療法の開発を目指す。



◎ALSは発症のメカニズムが分かっておらず、根本治療が確立していません。今回突き止められた「Fos-B」遺伝子が中心的役割とみられており、新たな治療法の開発が急がれます。

### ▼手足口病が警報レベルに 過去10年で最多ペース

産経ニュース 2019年7月2日

<https://www.sankei.com/life/news/190702/lif190702016-n1.html>

乳幼児を中心に口内や手足に発疹ができる「手足口病(てあしくちびょう)」の患者数が6月23日までの1週間で1医療機関当たり5・18人となり、警報レベル(5人)を超えたことが2日、国立感染症研究所の調べで分かった。この時期としては過去10年で最多。西日本で感染拡大が目立ち、厚生労働省などが注意を呼びかけている。



◎手足口病ですが、西日本の感染拡大が警報レベルになっており、記事にはあげられていないですが、広島においても感染拡大が懸念されている状況です。口内の痛みと発疹を主訴にしている乳幼児の診断察をする時には、手足口病の可能性も十分にあるかと思えます。なお、手足口病は、乳幼児の病気と思われがちですが、大人も罹患します。我々も気を付けていかなければならないですね。

### ▼糖尿病…進化する血糖測定 体に装着、変動を常時記録

産経ニュース 2019年7月12日

<https://www.sankei.com/life/news/190712/lif190712017-n1.html>

糖尿病では血糖値をできるだけ正常範囲内に保つことが、病気の進行を食い止め、合併症を予防するのに大切だ。血糖値を下げる薬「インスリン」を自己注射する患者は、1日数回、指先で採血して血糖を測り、薬の量を調整する。



◎持続血糖測定器(CGM)は、厳密には血糖を測るわけではなく、血糖値と連動する皮下の「間質液」の糖濃度を連続して測定、記録するというものです。変動は血糖値から少し遅れるが精度は高く、ほぼ血糖値と同等で、CGMは変動を持続的に把握できるとのことです。課題もありそうですが今後に期待です。

### ▼世界の9人に1人、北は人口半数近くが栄養不足

yomiDr 2019年7月16日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190716-0YTE150025/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190716-0YTE150025/?catname=news-kaisetsu_news)

国連食糧農業機関(FAO)は15日、2018年に世界の人口の9人に1人にあたる8億2000万人が栄養不足に陥っていると報告書を発表した。北朝鮮では人口の半数近くが栄養不足で、北朝鮮の食糧事情が悪化している状況が浮き彫りとなった。



◎世界の国々では食べることもままならない人々が多くいるようです。にもかかわらず日本では賞味期限、消費期限という名のもとに、まだ食べられる食品が廃棄されている様子が報道されていました。日本の誇るべき「もったいない」という文化はどこに行ってしまったのでしょうか。

### ▼ゲームで「脳活」…シャープ 8月から介護施設向けに

yomiDr (2019年7月29日)



[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190729-OYTE150026/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190729-OYTE150026/?catname=news-kaisetsu_news)

シャープは8月から、ゲームを活用して高齢者の認知機能の維持向上を支援する「頭の健康管理サービス」を介護施設向けに提供する。利用者ごとの目標設定から訓練計画の作成、結果の管理まで担当するのが特徴で、施設側の事務負担の軽減につながるという。



◎認知機能回復の方法といえはすぐ「プログラム」という言葉が浮かびますね。でも高齢者の方々が楽しんで行えるゲーム感覚なら、積極的に参加してくれそうですし効果もより高くなるのではないのでしょうか。これからは「エンターテイメント」も、治療に必要な要素となるかもしれません。

### ▼平均寿命 過去最高に 平成で5歳延びる

NHK NEWS WEB 2019年7月30日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190730/k10012014171000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_005](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190730/k10012014171000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_005)

日本人の平均寿命は平成の30年で男女ともに5歳余り延び、去年は女性が87.32歳、男性が81.25歳といずれも過去最高となったことが厚生労働省のまとめでわかりました。厚生労働省のまとめによりますと、去年の日本人の平均寿命は女性が87.32歳、男性が81.25歳で、おとしより女性は0.05歳、男性は0.16歳延びていずれも過去最高を更新しました。



◎平成の30年間で日本人の平均寿命が5歳延びたようです。医療技術の進歩や、健康意識の高まりが主な要因

のようです。平均寿命だけでなく、健康寿命も伸ばしていくことが重要です。QOLの向上のために歯科の果たす役割は大きいと思います。

### ▼無料掲載のほが…ネット求人の広告サイト、一定期間利用後に高額請求のトラブル相次ぐ

Yahoo NEWS 2019年7月15日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190715-00010001-kyt-soci>

インターネット上の求人広告サイトを巡り、求人情報を無料で掲載できると勧誘された事業者が、一定期間の利用後にサイト運営会社から高額な料金を請求されるトラブルが各地で相次いでいる。人手不足に悩む中小企業や個人事業主が標的になっており、支払いを拒んだ事業者側が訴えられたケースも出ている。

◎とあるレストランで、無料お試しキャンペーンということで求人掲載を申し込んだところ、3週間後に32万円の請求が来たそうです。申込時の書面に小さな文字で、解約しない限り、自動的に有料掲載に移行することが書かれてあったそうです。歯科業界でも人手不足が深刻ですが、甘い話には十分気を付ける必要があります。

(リンク切れのためQRコードなし)

## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

### 9月4日放送分

「2歳児フッ素塗布や矯正無料相談会」  
広島市歯科医師会 能美和基専務理事

広島市歯科医師会では市民の皆さまの健康増進の一助となるべく様々なお役立ち事業を行っています。今週は、広島市歯科医師会専務理事の能美和基さんが「在宅訪問歯科健診・診療」、「2歳児のフッ素塗布」、「矯正歯科無料相談会」の事業について紹介します。

### 9月18日放送分

「休日の歯科救急医療や妊婦歯科健診」  
広島市歯科医師会 若林大輔理事

広島市歯科医師会では市民の皆さまの健康増進の一助となるべく様々なお役立ち事業を行っています。今週は、広島市歯科医師会理事の若林大輔さんが「休日歯科救急医療」、「妊婦歯科健康診査」、「節目年齢歯科健康診査」の事業について紹介します。

## 会員ひろば 新入会員紹介



**住田 真一**

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました住田真一です。私は東京歯科大学を卒業し、同大学の歯科補綴学第三講座大学院にて学位を取得したのちに、広島に戻り、父の歯科医院で勤務しています。入会に際しましては、多くの先生方にご相談させて頂き、お力添えをしていただきました。歯科医師会の方々、同窓会の先生方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

今後とも御指導御鞭撻の程何卒よろしくお願い致します。



**千田 禎**

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました千田禎と申します。

私は京都で生まれ育ち、神奈川歯科大学を卒業後、横須賀市の歯科医院に勤務した後、色々な縁あり広島市の歯科医院にて勤務することになり、2019年6月28日に広島市南区皆実町で「Mille(ミル) 歯科」を開業致しました。

開業に際しましては、諸先生方に温かいご指導、ご助言を頂きまして誠にありがとうございました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

微力ではありますが、患者さんのため地域のために貢献できるよう精進していきたいと思

後とも御指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 8 月 定例理事会報告

### 「部外報告」

7月27日 (県)中国地域歯会連合会社会保険担当者連絡協議会  
 " 第158回歯科医師国保組合・第59回互助会総代会  
 " 歯科医師国保組合次期執行部打合せ  
 7月28日 山科透先生「お別れの会」  
 7月29日 入会前面談  
 7月30日 広島市歯科医療福祉対策協議会会計監査  
 8月1日 第61回広島市学校保健大会・第58回よい歯の集い  
 8月3日 会員面談  
 8月4日 大原省三先生叙勲祝賀会

" (県)施設基準研修会  
 8月5日 社会保険診療報酬支払基金再審査  
 " 会員面談  
 8月7日 市役所宮城先生との協議  
 8月8日 新規個別指導に係る立会  
 " (県)保険部常任委員会  
 " 令和元年度第1回広島市地域包括支援センター運営協議会  
 8月15日 協議会対応  
 8月20日 国保連合会歯科再審査部会  
 8月20-26日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議26日)  
 8月21-25日 国保連合会歯科審査部会

**(連盟関係)**

8月 3日 連盟理事会・評議員会・デンタルミーティング

**「総務関係」**

8月 6日 原爆死没者慰霊祭  
8月 8日 広島東洋カープ観戦の集い  
8月17日 三役会  
8月19日 定例理事会

**(慶弔関係)**

8月 1日 広島市学校保健功労者表彰  
中区支部 森田行雄先生  
西区支部 松原博久先生 三浦留貴先生  
東区支部 片内恒平先生 木村太言先生  
宮地謙先生  
〃 永年勤務学校歯科医表彰  
南区支部 鍋島耕二先生  
8月17日 中区支部 花木清隆先生ご尊父様ご逝去

**(入会退会関係)**

7月29日 入会前面談(本川雅英先生)

**(県歯理事会関係)**

8月 1日 県歯理事会

**(1) 総務部(森本理事)**

7月27日 (県)中国地域歯会連合会社会保険担当者連絡協議会  
7月29日 入会前面談(本川雅英先生)  
7月30日 休日診療レセプト点検  
8月 3日 会員面談  
8月 6日 原爆死没者慰霊祭  
8月 8日 (県)保険部常任委員会  
8月 9日 定例委員会

**(2) 学術部(花岡理事)**

8月 2日 定例委員会  
8月 6日 原爆死没者慰霊祭

**(3) 厚生部(谷理事)**

8月 2日 原爆死没者慰霊祭打合せ  
8月 6日 原爆死没者慰霊祭  
8月 8日 広島東洋カープ観戦の集い

**(4) 地域歯科保健部**

8月 6日 原爆死没者慰霊祭

**<学校保健>(有馬理事)**

7月26日 (南区地対協)令和元年度第1回常任理事会・理事会  
7月27日 第158回歯科医師国保組合・第59回互助会総代会  
8月 1日 第61回広島市学校保健大会・第58回よい歯の集い  
8月 8日 第27回広島県学校歯科保健研究大会

**<地域保健>(若林理事)**

8月 5日 (県)労働安全衛生法に基づく歯科特殊

健康診断の研修事第3回委員会

8月11日 協議会対応  
8月15日 協議会対応

**<地域連携>(藤田理事)**

7月27日 2歳児フッ素塗布・母子ぐるみ歯科保健指導  
8月 7日 広島市会議予防事業に携わる専門職のための基礎研修会打合せ  
8月 8日 令和元年度第1回広島市地域包括支援センター運営協議会  
8月 9日 広島キッズシティ店舗オーナー説明会

**(5) 広報部(水内理事)**

7月27日 第158回歯科医師国保組合・第59回互助会総代会  
7月29日 校正委員会・情報調査委員会  
8月 1日 第61回広島市学校保健大会・第58回よい歯の集い  
8月 6日 原爆死没者慰霊祭  
8月 8日 広島東洋カープ観戦の集い

**FMちゅーピー(新聞掲載)**

9月 4日 「広島市歯科医師会のお役立ち事業について」  
広島市歯科医師会専務理事  
能美 和基氏  
9月18日 「広島市歯科医師会のお役立ち事業について」  
広島市歯科医師会理事  
若林 大輔氏

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 1,890 (累計 134,750)  
ページビュー 10,315 (累計 442,735)  
会員サイト 訪問者 176 (累計 27,883)  
ページビュー 820 (累計 212,224)  
広報部 … Talking Heads<最新情報>  
掲載件数 26件(7/21~8/15)

**(7) 特別委員会**

**(8) 救急蘇生委員会**

**(9) 歯科医療安全相談**

7月31日 相談 自費診療の治療内容について  
(50歳代女性)…以降3回連絡あり

**「協議事項」**

- (1) 会費について(1名)  
終身会員資格取得による会費額変更について1名承認。
- (2) 入会について(3名)  
中区支部2名、西区支部1名継続審議中
- (3) 広島市歯科医師会謝礼及び招聘旅費に関する内規について  
内容について確認・協議
- (4) 学術講演会について  
内容について確認・協議
- (5) 広島東洋カープ観戦の集いについて  
確認・記載方法の検討

- (6) 広島市立小学校への「歯・口の外傷マニュアル」  
(日学歯)及びティースキーパー「ネオ」寄贈について  
内容について確認・承認
- (7) 広島県内保育施設への「歯・口の外傷マニュアル」  
(日学歯)配布について  
内容について確認・承認
- (8) 協議会4地区輪番制による負担軽減案について  
内容について確認・協議継続

- (9) その他  
委員の名刺について  
希望者のみ作成
- 「その他」  
特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net  
 広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

